

地球温暖化防止

エコラム
ECO-LUMN

Vol.82

環境地球温暖化対策室

☎295100

地球温暖化の最新知見

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、地球温暖化に関する最新の科学的知見を整理するために、1988年に世界気象機関（WMO）と国連環境計画（UNEP）により設立された。約5年おきに公表されるその報告書は、国際的に合意された科学的理解として認識され、政策検討・国際交渉などで多用されてきました。昨年9月には、第5次報告書（自然科学的根拠）が公表されました。その概要について紹介します。

①温暖化の理解について
20世紀半ば以降の温暖化の主要因は、人間活動の可能性が極めて高い。

②世界平均気温について
世界的に工業化が進んだ1880～



2012年の間に、気温は平均0.85℃上昇した。2100年頃の気温は、2000年頃に比べて最大で4.8℃上昇すると予測される。

③海面水位について
1901～2010年の間に、海面水位は平均0.19m上昇した。2100年頃の海面水位は、2000年頃に比べて最大で0.82m上昇すると予測される。

④極端現象について
2100年頃は、2000年頃に比べて、暑い日・熱波・大雨・強い熱帯低気圧などの極端現象の頻度が増加することが予測される。

その他に、海洋の温暖化や北極海水面積の減少などにも言及があります。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
総合支所

生ごみ処理機器購入補助金

市では、家庭から出る生ごみの減量化を推進するため、生ごみを自家処理する処理機器の購入費の一部を補助しています。

この制度を活用し、生ごみの減量に取り組んでみましょう。

対象 市内に在住し、生ごみ処理機器の購入を予定している人

補助金額 処理機器1基につき購入価格の2分の1以内の額

○電気式 220,000円を限度

○一般式 3,000円を限度

補助基数 1基/世帯（一般式は2基まで）

申請に関する詳細については、ホームページで確認、または環境事業所に問い合わせてください。

※必ず購入前に申請してください。

申環境事業所 ☎7710

▼一般式



▲電気式

■ごみ処理家計簿

減量効果		11月分(前年同月比)
増	処理費用換算	-301万円
減	排出量 (1人1日当たり)	858g(-21g)

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります。